

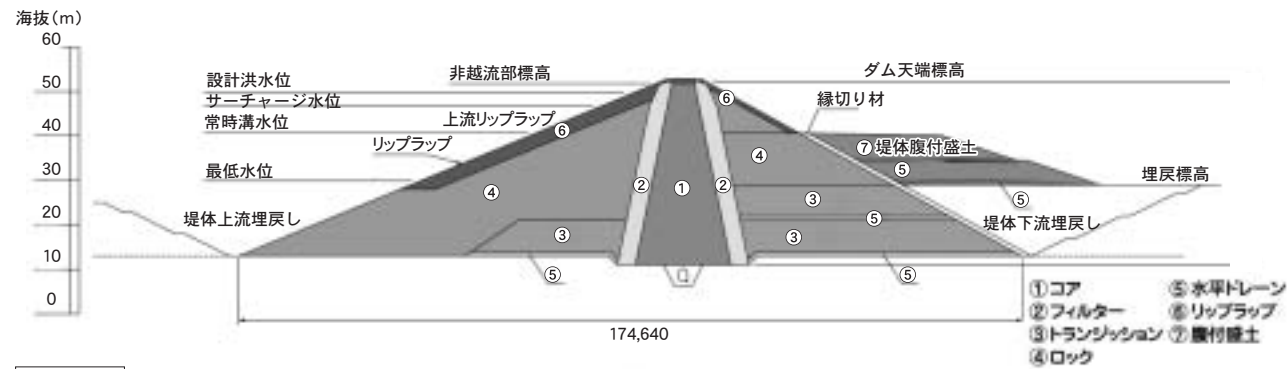
貯水池容量配分図



ダムづくり	
型式	中央コア型ロックフィルダム
堤高	41.2m
堤頂長	440.0m
堤体積	1,225,000m³
貯水池づくり	
集水面積	42.0km²
湛水面積	2.2km²
総貯水容量	23,300,000m³

※中央コア型ロックフィルダム
土や岩石を材料とするダム。ダム本体の中心部に粘土層の水を通さない壁（コア）をつくり、その周りにコアを保護するフィルター層（砂利）、外側にダムを安定させるロック（岩石）を並べた3層構造になっています。

標準断面図



用語解説

EL：海拔
サーチャージ水位：洪水が発生しそうな時に、一時的に貯水池に貯めることのできる最高の水位

堤高：ダムの高さ
堤体積：ダム本体(堤体)の体積
堤頂長：ダム堤体の一番上の部分(天端)の長さ

集水面積：降雨が流入する全領域の面積
湛水面積：サーチャージ水位まで水が貯まった時の水面の面積

留萌ダムの概要
○ダムの構造と規模
留萌ダムは、建設地の地質やダム本体を造るための材料の確保などから、ダム型式は「中央コア型ロックフィルダム」を採用しています。
規模はダム高41.2m、堤頂長440m、有効貯水容量は2,180万m³、総貯水量2,330万m³で、札幌ドーム(158万m³)の約15個分の水を貯えることができます。
洪水調節方式は、ダム地点の集水面積が42km²と比較的小さく、洪水到達時間が短いことから、ゲート操作が不要で管理が容易な自然調節方式を選定しています。

留萌ダムの目的
○流水の正常な機能の維持
留萌川に生息する動植物の生息環境の保全やダム下流の既得用水の安定確保のため、必要な流量を補給します。
○水道
留萌市の水道用水として、新たに留萌市の水道使用量の約半分にあたる日最大4,600m³の取水を可能とします。

留萌ダムの目的
○洪水調節
ダム地点の計画高水流量430m³/sのうち400m³/sの洪水調整を行い、ダム下流の洪水被害を軽減します。
○洪水調節
ダム地点の計画高水流量430m³/sのうち400m³/sの洪水調整を行い、ダム下流の洪水被害を軽減します。

留萌ダムの目的

留萌ダムは、留萌川河口から約21km上流の留萌川支川チバベリ川に建設された特定多目的ダムです。
ダム下流域の洪水被害を軽減するほか、留萌市の水道用水の供給に加え、留萌川における水環境を改善し豊かで潤いのある河川とするために必要な水量を補給するという、3つの目的を持っています。



留萌川流域は過去より、たびたび洪水の被害に遭ってきており、戦後から現在までに15回の洪水被害を記録しています。中でも昭和63年8月の洪水は、市街地の約3分の1が浸水するなど大きな被害がありました。
こうした洪水被害から留萌川流域を守るため、洪水の流量を調節することを目的とした留萌ダムが3月に完成しました。
同時期に完成しました大和田遊水地とともに洪水調節が可能となり、留萌川の洪水に対する安全度が向上します。

留萌ダムが完成しました。

市民の洪水不安を解消 水道用水を確保

位置図

■ダム本体に関するお問い合わせ
留萌開発建設部 留萌ダム管理支所
☎46・8111

■その他お問い合わせ
市・都市整備課
☎42・2010